

広報 川越

No.1352

平成27年10月10日

(毎月10日・25日発行)



子育ての味方、あなたのそばに、ほらたくさん：2
幼稚園入園申し込みのお知らせ：5

ひとまち 昭和の街に新しい風を：6

*川越市ホームページ (<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>) でも、広報川越をご覧になれます。

川越まつり(一昨年撮影)
今年は10月17日(土)・18日(日)に開催

子育ての味方、あなたのそばに、ほらたくさん

核家族化や地域ぐるみの付き合いが少なくなってきた現代では、子育て中の家庭の孤立、共働き家庭やひとり親家庭の増加など、子どもを育てる環境が変化してきています。

市では、子育てに対する不安などを解消し、地域と行政等が一体となって子育てを支えていくために、さまざまな子育て支援や保育支援に取り組んでいます。今回は皆さんに身近な「子育て支援」について紹介します。

こども育成課

☎224-5724

子育て支援センター

☎249-7830

地域の子育て支援施設

各子育て支援センター・各広場は市内28か所で開設しています

開催時間・場所など詳しくは市ホームページを確認するか、子育て支援センターまでお尋ねください。なお、施設の利用料は無料です。



ママも笑顔でリラックス



親子でふれあい遊び！

「わいわい、がやがや」と、たくさんの声が聞こえてきます。ここは川越市子育て支援センター。おおむね3歳未満の親子の交流・情報交換の場です。市では、このほか、つどいの広場・わくわく広場を開設しています。各施設には、自由に遊べるスペースがあったり、絵本の読み聞かせや季節に合わせた講座の開催等を行ったりしています。

「行ってみたいけど初対面の人と話すのは苦手」「勇気がない」等、なかなか参加に踏み出せない方も安心してください。職員が様子を見守り声掛けをするなど、参加しやすい雰囲気作りをしています。

「お子さんが笑顔で遊ぶ姿を見て、皆さん自然と打ち解けていますよ。一緒に楽しい時間を過ごしましょう」と職員は話します。

連雀町つどいの広場担当者インタビュー



NPO法人川越子育てネットワーク代表 本田倫江さん

子育ては大変ですが、楽しいことでもあります。必要なのは、リラックス。リラックスすることで、余裕が生まれ子育てが楽しくなります。そのためには、人とのつながりを作ることが大切。仲間を作り、情報交換や相談をすれば、気持ちが楽になります。子育て期間はあっという間です。楽しんでください。

利用者インタビュー



安田裕里さん(左)と健くん(右)

初めての子育てで不安なときに、広報で子育て支援センターを知りました。広いスペースで自由に動き回ることができるし、手作りのおもちゃもたくさんあるので、子どもも楽しそうに遊んでいます。友人もでき、自分自身もいい気分転換になっています。

ファミリー・サポート・センター

「学校行事のため、兄弟姉妹を預けたい」「仕事で保育園のお迎えに間に合わない」ときなどは、地域で助け合う「ファミリー・サポート・センター（通称ファミサポ）」をご利用ください。子育ての援助をした人々を「提供会員」、援助を依頼した人を「依頼会員」と呼び、その調整をファミサポのアドバイザーが行います。

実際にファミサポの提供会員である近藤さんご夫婦にお話を伺いま



おやつを食べてご機嫌♪(近藤さん宅)

ファミサポには提供会員 696 人、依頼会員 1,635 人の方が登録しています(平成 27 年 9 月 1 日現在)

1 時間あたりの利用料…700 円(平日、午前 7 時～午後 7 時) ▶
800 円(土・日曜日、祝・休日、年末年始および上記以外の時間帯)

ファミサポ提供会員講習会

日時…10 月 19 日(月)・23 日(金)・
26 日(月)、午前 10 時～午後 3 時(最終日は午後 3 時 30 分まで)

会場…オアシス

対象…市内在住の成人

申し込み…川越市ファミリー・サポート・センター ☎225 - 3828

た。「もともと子どもが好きで、地域の役に立てるならと思いつきファミサポに登録しました。この年になると、子どもと遊ぶ機会がなかなかないので、自分も楽しませてもらってます」。

また、依頼会員の鎌田さんは「土曜日が仕事のため、子どもの迎えができなくて困ってました。今は、ファミサポを利用して近藤さんをお願いすることができ、子どもも喜んでます」と話してくれました。

地域の助け合いで子育てを支援するファミサポ。利用には事前の登録が必要です。

詳しくは、川越市ファミリー・サポート・センター ☎225 - 3828 にお問い合わせてください。

ともに育つ

親は子どもを持ち初めて「親」となり、「親」として、さまざまな経験をすることになります。

子育てで経験する「おむつ交換」「沐浴」「離乳食」など全てが初めて。慣れない経験には、重圧や不安がつばいですが、育児に奮闘している

お母さん・お父さんのすぐそばには、ともに成長を続けようとしている子どもの姿があります。「親」が「子」を育てるように「子」が「親」を育てます。

市では、これからも皆さんが安心して楽しく子育てできるように、関係機関・団体と協力し、「親子」の成長を支えていきます。

ご存知ですか

緊急サポートセンター、病児・病後児保育室

緊急サポートセンター

会員同士の助け合いにより病児・病後児や宿泊を伴う保育、緊急的な一時保育を行っています。利用には事前の登録が必要です。

利用料金など、詳しくは緊急サポートセンター埼玉 ☎048 - 297 - 2903にお尋ねください。

対象…小学 6 年生まで

病児・病後児保育室

病気または病後回復期の子どもを施設で一時的に預かります。各施設とも利用時間は午前 8 時～午後 6 時です。

利用方法など、詳しくはこども育成課までお尋ねください。

対象…生後 2 か月～小学 3 年生 定員…各施設 3 人(病状で判断する場合あり) 利用料金…1 日 2,000 円(所得状況により軽減措置あり)

* 別途おむつ代がかかる場合があります。

● 病児保育室(日曜日、祝・休日、年末年始は休み)

実施施設…育児サポート アイアイ(古谷上・愛和病院内 ☎235 - 8926) ▶

みついきッズケア(松江町 1 丁目・三井病院南側 ☎290 - 5551) ▶おさるのゆりかご(砂新田 2 丁目・おせきこどもクリニック内 ☎265 - 8800)

● 病後児保育室(土・日曜日、祝・休日、年末年始は休み)

病気回復期のみ利用できます。

実施施設…ハートランドともいき(笠幡・ともいき保育園内 ☎227 - 3811)

資源循環推進課のお知らせ

☎239-6267

布類拠点回収(後期)を実施します

居住する地区以外の回収場所に出すこともできません。回収場所など詳しくは、「平成27年度家庭ごみの分け方・出し方」をご確認ください。

日程：11月8日～12月20日、日曜日（11月22日・29日を除く）

時間：午前9時～正午

10月25日(日)はごみゼロ運動

ごみゼロ運動は、道路や公園などの公共の場に落ちているごみや空き缶を拾い、清潔な環境を保ち、美しいまちづくりをする運動です。

当日は、家庭ごみや粗大ごみを回

人事発令

平成27年10月1日付け

職員課 ☎224-5553

市長部局

参事…市民部参事兼市民センター推進室
名細市民センター所長=益子俊明

上下水道局

参事…経営管理部参事=橋本邦明
*課長職以上の名簿につきましては、市ホームページをご確認ください。

取する日ではありません。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

国民年金保険料「5年の後納制度」開始

市民課 ☎224-5764

過去5年以内に納め忘れた国民年金保険料を納付することで将来の年金額を増やしたり、年金の受給権につなげることができる「後納制度」が、平成27年10月1日から3年間限りの特例として開始されました。なお、老齢基礎年金を受給している方などは利用できません。

同制度を利用するには年金事務所での事前申し込みが必要です。

詳しくは、国民年金保険料専用ダイヤル ☎0570-011-050
または、川越年金事務所 ☎242-2657
にお尋ねください。
*市では申し込みできません。

廃棄物処理施設設置等事業計画書の縦覧

産業廃棄物指導課

☎239-7007

廃棄物処理施設の設置を計画している事業者から、「川越市廃棄物処理施設設置等紛争の予防及び調整条例」に基づき、事業計画書が提出されました。事業計画書と生活環境保

全対策書の縦覧を次のとおり行います。

また、事業者による関係地域住民を対象にした説明会が、縦覧期間中に行われます。説明会の日程については、同課にお尋ねください。

事業者：ミノワ工機(株)

設置場所：下赤坂1809-1ほか
8筆

縦覧期間：10月13日(火)～11月13日(金)
(土・日曜日、祝日を除く)、午前8時30分～午後5時

縦覧場所：産業廃棄物指導課(資源化センター内収集管理棟1階)・環境政策課(本庁舎5階)・福原市民センター

意見書の提出

事業に関係する市民の方は、生活環境保全上の意見書を提出できます。

提出期間：11月27日(金)まで(消印有効。縦覧期間中に説明会が終了しない場合、説明会終了の翌日から2週間まで)

提出方法：縦覧場所配布する意見書に必要事項を明記し、〒350-0815 鯨井782-3 資源化センター産業廃棄物指導課(持参可)

*意見書の用紙は、市ホームページからもダウンロードできます。

川越市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略原案に対する意見募集

政策企画課 ☎224-5503

Fax 225-2895

市では人口の将来展望を示す人口ビジョン、地方創生を目的とした総合戦略を策定予定です。このたび、総合戦略原案等が完成したため、市民の皆さんから意見を募集します。

閲覧・募集期間：10月10日(土)～11月9日(月)(必着)

閲覧場所：政策企画課(本庁舎4階)・市民センター・南連絡所・本川越駅証明センター・公民館・図書館

対象：市内在住・在勤・在学または利害関係のある方

意見の提出方法：閲覧場所配布する意見用紙に必要事項を明記し、〒350-8601 川越市役所政策企画課(持参・ファクス可)

*市ホームページからも、閲覧・意見の提出ができます。

意見の取り扱い

提出された意見は、今後の総合戦略等の策定の参考にします。また、意見に対する市の考え方と案を修正した場合は内容を公表します。なお、個人情報等は公表しません。

名称	納期限	問い合わせ
市・県民税(第3期)	11月2日(月)	224-5686
国民健康保険税(第4期)		
後期高齢者医療保険料(第4期)	介護保険課	224-5817
介護保険料(第4期)	医療助成課	224-5842

幼稚園入園申し込みのお知らせ

こども政策課 ☎224-6278

平成28年度、市内幼稚園入園希望者の申込受付が始まります。受け付けは、11月1日(日)からです(一部の園を除く)。申込書類は、10月15日(木)から市内の各幼稚園で配布されます。



*子ども・子育て支援新制度に対応する幼稚園は入園の方法や保育料等が従来型の幼稚園と異なります。詳しくは、各幼稚園にお尋ねください。

	従来型の幼稚園	新制度に対応する幼稚園・認定こども園
入園方法	希望する幼稚園に直接申し込み	希望する幼稚園等に直接申し込み、入園の内定後、幼稚園等を通じて市へ認定申請
入園料	各園で設定した額を入園時に支払い	なし(毎月の保育料に含まれている)
保育料	各園で設定した額を毎月支払い	市で設定した額を毎月支払い(所得状況により額が異なる)
補助金	所得状況を基に計算した額を1月末に支給	なし(毎月の保育料が所得状況を考慮した額となっている)
選考方法	建学の精神等により各園が決定	幼稚園等の事業者は、正当な理由がある場合(定員に空きがない場合等)を除き、保護者からの申し込みを拒むことができない

10月30日(金) 販売開始 「川越まんぷく商品券」を発行!

有効期間：10月30日(金)～来年1月17日(日)

産業振興課 ☎224-5934

川越まちなかステーション ☎277-5321

市では、市内の飲食消費喚起を促すため、(株)まちづくり川越、(公社)小江戸川越観光協会が実施する「川越市プレミアム付き地域商品券(まちバル)事業」を支援します。5千円で6千円分の飲食などができる、お得な商品券です。期間中に開催される「川越街ばる」でも利用できます。商品券を購入すると川越オリジナルピンバッジをプレゼント。詳しくは専用ホームページ(「川越まんぷく商品券」で検索)をご確認ください。

販売開始日

10月30日(金)、午前10時～(先着2,000冊、1人5冊まで)

販売場所

(公社)小江戸川越観光協会、小江戸蔵里、川越まちなかステーション(仲町1-4-2階)

*1,000円券(6枚綴り)です。お釣りは出ませんのでご注意ください。



「川越街ばる」

普段とは少し違った「特別メニュー」を提供する参加店舗を食歩き、飲み歩きできるイベントです。

開催期間…第1回=10月30日(金)～11月3日(祝)▶第2回=来年1月8日(金)～11日(祝)

*参加店舗等詳しくは、専用ホームページをご確認ください。

川越まんぷく商品券 検索

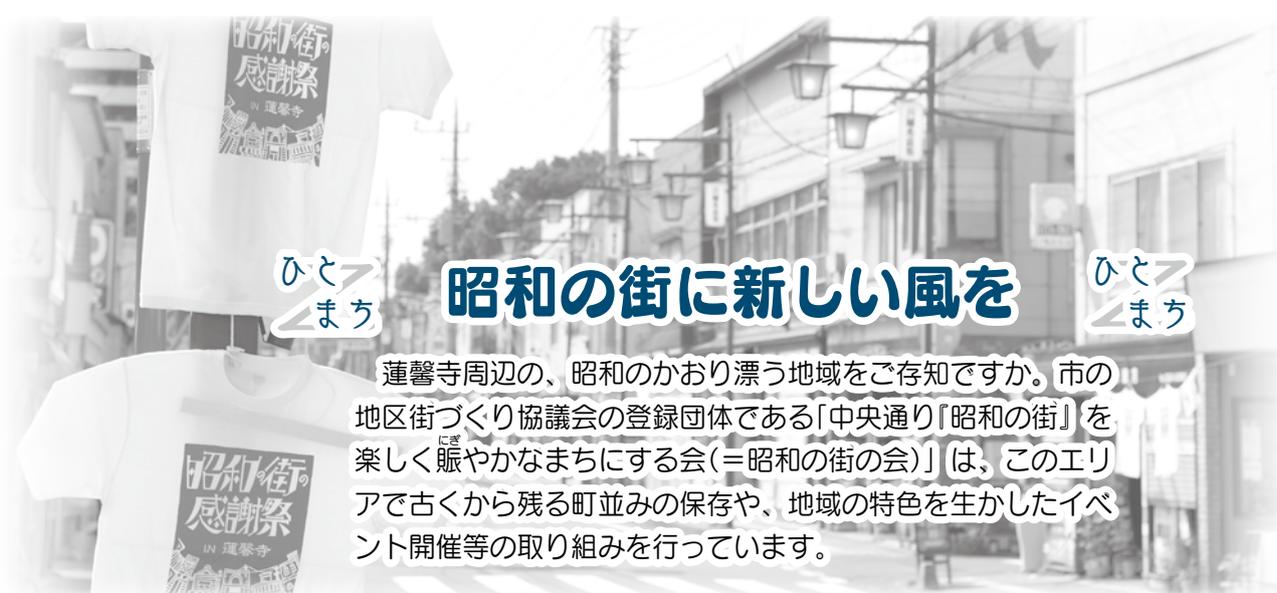
～ひとくち情報～ ミニ・インフォメーション ～ひとくち情報～

●川越市都市計画審議会を開催 都市計画課 ☎224-5945

川越都市計画生産緑地地区の変更について。10月28日(水)、午後2時～。やまぶき会館B・C会議室。傍聴は先着5人。受け付けは、午後1時40分～。当日直接会場。

●埼玉県民手帳を販売 情報統計課 ☎224-6185

10月19日(月)～12月18日(金)、情報統計課(本庁舎分室2階)で販売。県や各市町村の主な統計資料、官公庁の一覧などが掲載された便利な手帳です。縦14cm×横8.5cm。500円。色は黒とグレイッシュブルーで、色により内容が異なります。



ひとまち

昭和の街に新しい風を

ひとまち

蓮馨寺周辺の、昭和のかおり漂う地域をご存知ですか。市の地区街づくり協議会の登録団体である「中央通り『昭和の街』を楽しく賑やかなまちにする会(=昭和の街の会)」は、このエリアで古くから残る町並みの保存や、地域の特色を生かしたイベント開催等の取り組みを行っています。



手動の機械で削ったかき氷も大人気

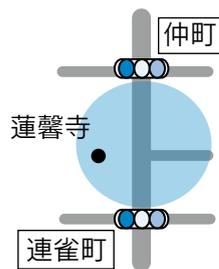


同会の会長・岩澤勝己さん(右写真)は、「通りができた昭和8年当時の建物のほか、特色がある店や町並み、人情が残っています。今後も看板建築の保存など、昭和の町並みを残していきたいですね。そして若い人たちにどんどん訪れてもらいたいです」と語りま



昭和の街の会

同会は、蓮雀町から仲町までの中央通りと立門前通り周辺で、地区の特色を生かした街づくりを行っています。市が情報提供などの支援を行う「地区街づくり協議会」の登録第1号の団体です。



す。また、同会では立ち止まって見てもらえるようにと11個の顔出し看板を設置。これは、「昭和の街に顔出して」という意味も込められた作品で、市内の大学生の協力により作成したそうです。おもてなしで街を盛り上げようと昨年から行われているのが「昭和の街の感謝祭」。今年は9月12日に行われました。天気恵まれ

た感謝祭当日、会場の蓮馨寺付近は、多くの人でにぎわいました。「親しみが持てて楽しいまちなので、よく訪れます」と話すのは、SNSを利用する家族から聞いてイベントを知ったという鈴木淳二さん(寺井)。お子さんの祥くん(4歳・左写真中段)は、初めてベীগオマを体験しました。感想を聞くと「戦いみたいで面白い。回すのは難しかったけどまたやってみよう」。

真剣な表情でかざぐるまを作っていたのは、台湾から旅行に来たという同級生4人組。「川越のことは、インターネットで知りました」と話します。かざぐるまが完成すると笑顔でカメラに向かってポーズを取ってくれました。

岩澤さんは、「多くの人に昭和の街を知ってもらえてよかったです。今後もより盛大に開催できるように『レトロだけど新しい昭和の街』をPRしていきたいです」と気合たっぷり話してくれました。今も残る昭和のおおりは、SNSやインターネットとといった新しい風に乗って、地域や世代を超えた人たちに届けられています。



市長からの手紙

52 地方創生

去る8月31日、川越市の人口が35万人に達しました。前号の広報川越でお知らせし、新聞でも報道されましたので、ご存じの方も多いことと思います。すでに人口減少社会に突入した日本の中で、微増ながら人口が増え続けていることは、自治体として大変喜ばしいことであると思います。

昨年5月、民間研究機関の日本創成会議が公表したいわゆる「消滅可能性都市」が話題となりました。政府は2020年までに東京圏への人口転出転入を均衡させることを国の総合戦略の基本目標の一つに掲げています。年間10万人の転入超過という現状を、転入を6万人減らし、転出は4万人増やすことにより均衡させる計画です。

ところで、最近都内を歩く機会が何度かありました。以前、都内に毎日通っていたころは全く意識しなかったのですが、改めて地方創生の目標を意識しつつ都内の状況を見ると、やはり圧倒的に人が多いこと、飲食店にしても物販店にしても、思わず入ってみたいくなるような魅力的な店、いろいろな工夫を重ねていることが感じられる店が多いことを、歩いた先々で感じました。お店だけではありません。働く場もたくさんありますし、大学・専門学校など勉学のための施設、劇場などの文化施設、公共施設なども数多くあります。

このように、人の社会生活のさまざまな面において突出して優位にある東京と、それを取り巻く圏域に人口が集中してくることを抑制するのは、大変困難な課題であると思われます。

現在策定している「川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、当面の人口を現在の水準で維持することを(数値)目標とし、川越の魅力を生かして、「住んでみたい」「住んでよかった」と思えるまちの実現に向けた施策を、しっかりと実施していく予定です。

川越市長 川合善明

環境にやさしい行動を目指して7
自ら考え、活動する「子どもエコクラブ」

環境政策課 224-5866

子どもエコクラブは、3歳から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。子どもたちが人と環境の関わりについて理解を深め、自然を大切に思う心や、環境を守るために自ら考え、行動する力を育成することを目的としています。

市では毎年、「研修会」と「発表会」を実施し、こどもエコクラブの活動をサポートしています。8月21日には「こどもエコクラブ研修会」で川の博物館(寄居町)を訪れ、川と人の生活との強い結びつきや、実際に川に入って見つけた生き物の種類などから水がどのくらいきれいかを調べる方法について学習しました。



子どもたちからは「川の力つてすごい」「不老川では見かけたことがない生き物がある」「面白い名前の子虫!」「ぶにぶにして、感触が面白い」などの声があり、仲間と一緒に楽しみながら、自然に対する関心と思いやりを育んだ1日となりました。

家族で、友達同士で、近所の皆さんで、こどもエコクラブを始めてみませんか? 環境に興味がある子ども2人と、サポートする大人1人の最少3人から、こどもエコクラブの登録ができます。登録することによって活動に役立つツールや、さまざまな情報を得ることができます。昨年度の市内エコクラブの活動の様子や登録の方法については、市ホームページをご確認ください。

膳所瓢箪茶入 銘白雲

この茶入は、(公)静嘉堂文庫美術館が所蔵する品です。滋賀県大津市の膳所で焼成された代表的な作品で、江戸時代初期の大名で茶人でもある小堀遠州(1579～1647)が好んだ瓢箪形をしています。膳所の窯場は、遠州の指導によって始められたと考えられています。この窯場では、遠州好みの茶道具が多く生産され、遠州は生産された茶道具の中から優品を選び、自ら銘を付けました。



膳所瓢箪茶入 銘白雲(江戸時代前期ごろ)

この茶人は、瓢箪のくびれた部分の下方にたまたった白濁した釉の模様から白い雲を連想して「白雲」と命銘されたと考えられています。遠州は「古今和歌集」等の和歌から引用して銘を付けることが多い中、白雲は、「江談抄」の中の漢詩を引用して命銘しました。白雲は、江戸時代後期の大名で茶人でもある松平不昧(1751～1818)によって中興名物(茶人の名品)に格付けされた由緒ある茶入です。

白雲は、特別展「小堀遠州と川越藩士―遠州と酒井忠勝の交流を中心に―」で展示されています。遠州にゆかりのある茶入を、ぜひこの機会に間近で見てください。

日程：10月10日(土)～11月15日(日) 経費：入館料

埼玉川越総合地方卸売市場協力会



埼玉川越総合地方卸売市場(大袋)には魚や野菜のほかに肉

や卵を扱う業者など49社が出店しています。その全出店者が加入しているのが市場協力会です。

「全国の市場の中でも、協力会があるのは川越くらいですよ」と話すのは副会長の波崎好則さん。



一斉清掃の様子

毎週土曜日の「お客様感謝市」のイベントを考えたり、月に1回の市場内一斉清掃を行ったりしています。同じく副会長の文屋昌雄さんは「今、力を入れているのは市場内の美

化と活性化です」と話します。トイレの改装や喫煙ルームの設置などに加え、メールマガジンで各種催しなどのお得な情報を発信しています。

市場では、11月15日(日)に新鮮な食材の販売やさまざまな企画を行う「川越市場まつり」を開催



昨年の川越市場まつりの様子

します。新鮮な食材が豊富にそろった市場に、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

この時期に市内の直売所などで購入できる主な川越産野菜

サツマイモ、米、ブロッコリー、ホウレンソウ、コマツナ、ナス、ゴボウ、ダイコン、サトイモ、カキ、カブ、ネギ、イチジク、エダマメ、オクラ

翌日、近くの農家を訪れりと、籾から籾殻を取り除き、玄米にして袋詰めする作業をしていました。次々と積み重ねられていく米袋を見ると、どうしても新米が食べたくなりまして。早速、農産物直売所で購入。その晩食べた炊きたての新米は、格別の味わいでした。



秋 晴れが続いた9月下旬、近所の田んぼでは何軒もの農家が稲刈りをしていました。刈り終えたばかりの田んぼに近づいてみるとガサガサと音が。隠れ場所がなくなったカエルや昆虫があちこちで動いています。子どもころ、田んぼに近づくと、イナゴが一斉に飛び跳ねていた光景や、イナゴの佃煮を食べたことを思い出しました。

編集後記

どんぐり